

★**体育指導のポイント**★**伝え方のテクニック**

児童生徒が理解しやすいような伝え方を心がけていますか？  
伝え方を意識することで、児童生徒の話の理解度が上がります。

**◆児童生徒が、先生に「注目」していますか？**

児童生徒に話を理解させるためには、児童生徒が先生に注目していることが必要です。話を始める前に体を向けさせたり、今やっていることを中断させたりするとともに、以下のような言葉をかけて「注目」させましょう。

- ・「先生の顔が、見えているかな！」
- ・「今日、これだけは覚えておこう！」
- ・「耳だけでなく目でも話を聞こう！」
- ・「今から大切な話をするよ！」

**◆「一文一内容」で話していますか？**

児童生徒に伝えるときに「長く話さない」ことが大切です。ひとつの内容は一文にまとめましょう。文章で表したときに「、」でつなげるのではなく「。」で区切りましょう。

- 例) ×ボールを持っている鬼にタッチされたら、その人が鬼になって、鬼になったらボールをもらって、ボールを持っていない人を追いかけてよう。  
○鬼はボールを持ちます。持っていない人は逃げます。鬼にタッチされたらボールをもらいます。鬼が代わりました。鬼はボールを持っていない人を追いかけます。

**◆座位と立位を使い分けていますか？**

言葉が伝わりやすい状況づくりも大切です。例えば、活動途中で簡単な指示を与えるときには、立たせたままの方が集中力が途切れません。反対に、課題を説明したりルールを伝えたりするときには座らせた方が効果的です。また、実技の模範演技を見せるときなどは、前列は座らせて後列は立たせるなど、全員が見えるような工夫も忘れないようにしましょう。

